

アクト中食が社外取締役 経営の透明性を高める

藤原光広 税理士事務所

藤原 光広 所長

アクト中食
社外取締役



食品商社で
地場大手のア
クト中食(平岩
由紀雄社長)
は、社外取締
役を導入し

た。経営の透明性を高める狙いで、非
上場企業では珍しい。2013年に
広島国税局を定年退官し、同年に税
理士事務所を開いた藤原光広氏が、
4月1日付で就任。

「これまで培った経験や知識を企業
へ伝えることが、私の社会的な使命
だと引き受けました。第三者による
切り口を変えた視点は、コンプライ
アンス(法令順守)に加え、組織の飛
躍のために有意義です。監督面と、

(業務改善につながる) 執行面を協
調させた取り組みを心掛け、同社が
ステージアップする土台になりたい」

同役職に就く1年前から、顧問と
して毎月の経営会議で経営体質や意
識改革へ向け話をしてきた。同国税
局で5部署のうち、4部署で署長ク
ラスの役職を務めた多彩な経験談を
織り交ぜる。今後はボランティア活
動や、行政を支援する組織への参加
で社会貢献を推進。

「利益だけを追求する企業と、社会
貢献を重視する企業では、後者の方
が結果的に伸びます。地域の人々に
喜ばれるのはもちろん、企業が社会
に認められることで社員の意識や人
間性も磨かれ、好循環が生まれます」
14年から、ダイヤモンド工具大手
でジャスダック上場のコンセツクの
社外取締役も務めている。事務所業
務は自身の「組織論」の強みを生か
し、コンサルティングに注力。仕事
人生に「社会正義の実現」を貫く。